

令和元年度 第5回朝倉市地方創生会議 議事概要

1. 会議概要

日 時	令和2年1月30日（火）19：00～20：15
場 所	朝倉市役所 別館第1・2会議室
出席者	委 員 出席：6名 欠席：4名
	朝 倉 総務部長、 市 事務局（総合政策課）4名
次 第	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議事 （1）朝倉市人口ビジョン（案）について （2）第2期朝倉市総合戦略（素案）について 4. その他 5. 閉会
配布資料	資料1 朝倉市人口ビジョン（案） 資料2 第2期朝倉市人口ビジョン（案）の主な変更箇所 （第4回朝倉市地方創生会議（12/24）後） 資料3 第2期朝倉市総合戦略（素案） 資料4 第2期朝倉市総合戦略（素案）の変更一覧表 （第4回朝倉市地方創生会議（12/24）後） 資料5 第2期朝倉市総合戦略（骨子案） 参考資料1 広報あさくら（2月1日号）パブリックコメントについて

2. 議事要旨

（2. 会長あいさつ）

- ・年度末が近いので一つ一つ詰めて会の成果をあげていきたい。よろしく願います。

（3. 議事）

（1）人口ビジョン（案）について）資料1 資料2

委員名	意見、考え等
A	人口ビジョン（経過の理由を明らかにしたもの）の見直しは国勢調査の度にするのか。
事務局	人口ビジョンは50～60年後を見通し策定するものであり、5年後に見直すことを当時は想定していなかった。今回はよりどころとする社人研の推計がわずか5年の間に1,000人の乖離という結果が出たためである。5年後に見直すかについては社会情勢または推計に誤差が出た時はあり得る。

（2）第2期朝倉市総合戦略（素案）について

資料3

委員名	意見、考え等
B	21頁、指標（3）地域を支援する人材において、累計と書くとおかしくないか。

委員名	意見、考え等
事務局	延べではなく実数である。
B	それでは累計という書き方がおかしい。
事務局 1	ご指摘の通り、言葉の使い方を修正させていただく。
A	29 頁の用語解説を見ると、地域おこし協力隊の任期は 3 年程度ということか。
事務局 1	地域おこし協力隊というのが特別交付税制度を利用して採用ができるものなので、3 年間は同じ方に活用できる。決まりとしては都市部に住みスキルのある方が朝倉市に 1 年以上住んで協力いただく契約だが、1 年交代だとなかなか定着が進まない。3 年間の採用を計画している。筑前町は 6, 7 人いる。朝倉市は今年度 1 人採用、集落支援員 2 人がいらっしゃる。
A	地域おこし協力隊と集落支援員の仕事の違いは何か。
事務局 2	集落支援員の方は過疎や中山間地域で活動していただくためで 2 名の方に災害前 (H28) から活動していただいている。朝倉市の独自の事業として空き家を掘り起こし定住を促すという地域に入られて活動している。
A	集落支援員はコミュニティをより安定させ、地域おこし協力隊が経済の活性を含め活気づけるという意味か。
事務局 2	そうだ。
A	近隣市町村の 6, 7 名の中には住宅を建てて、定住し結婚している方はいるのか。
事務局 2	新聞でも出ているが 3 年経って定住しているのは地域おこし協力隊のうち 6 割という状況である。うきは市はものすごく多い。
A	隠岐の島は子どもがたくさん移り住んで有名である。
事務局 1	13 頁、指標 (1) 関係人口と地域を結ぶコーディネート事業を行う団体数について、今回は見直していない。しかし、(1) 関係人口の創出・拡大の主な取組③朝倉市との継続的なつながりの創出の文章を見直して全体的な広がりを見せられるようにした。報告が漏れていたがよろしく願う。
A	朝倉市は修学旅行生をグリーンツーリズムや体験学習へ受け入れが多いと考えるが、基本目標 2 の SDGs マークの中に【④質の高い教育をみんなに】開発目標を入れても良いのではないかと。なぜなら、今の大学生は人生経験・体験が少なくネット情報等耳や頭からの情報だけである。体験を通して学ぶことが質の高い教育につながるという考え方を文部科学省が持っている。アクティブラーニングがより大事だと考えればグリーンツーリズム・自然体験学習・ワーキングホリデー等社会と接点を持って学ぶことが質の高い教育につながると思うので④を入れても良いのではないかと。教育の効果も大きいと思う。
事務局 1	追加する。
A	10 頁②担い手育成・確保における女性農業者の支援とは具体的にどういうことか。
事務局 1	女性主体の経営農業の支援という事だ。今までの農家のスタイルは男性が経営者であり女性は補助的な役割を果たすものであった。若い人や女性に農業へ振り返っていただくため、細かく表現を分けている。
事務局 2	加えて説明させていただくと、以前は家族で農業を経営した時に世帯主つまり男性だけが収入を得ていた。家族経営協定を 10 数年前から普及させようとしているがなかなか進まない。女性農業者が活性化しないことには地域の農業は発展しない。家族間でもきちんと給与を払い、女性の農業の価値観を高めることに農業振興課も力を入れないといけないと考えている。
A	男女平等という考え方もあるのだろう。それから 6 次産業、生産物を加工するアイデアは女性の方が向いているかもしれない。補助では収入につながらない。

委員名	意見、考え等
C	13 頁、グリーンツーリズムで自然体験学習（野菜の収穫）はできるが、スポーツ合宿はどう考えているか。専属の指導者がいるのか。
事務局 1	全てグリーンツーリズムに結び付けるわけではなく、グリーンツーリズムもスポーツ合宿も都市部住民との交流促進の一つと考えていただきたい。例えば、子どもたちに原鶴温泉に泊まり、球場を野球やサッカーの練習に利用していただくように積極的に誘致を図る。住民の方と交流を促進させる捉え方をしていただきたい。
D	17 頁⑥子育て世代に魅力あるまちづくりの推進について、前回の記載内容より範囲が狭くなっている。生活基盤を整えるから住環境の整備と限定した意図は何か。
事務局 1	現在策定中の第 2 期子育て支援計画と整合を図っているためである。
D	子育て支援計画との整合は分かったが、順番の入れ替えではなく、生活基盤という広い範囲から住環境という狭い範囲に限定している。犯罪から子どもを守る体制づくりとは具体的にどういうものか。限定しているわりにはイメージしづらい。どちらかというと安心・安全のためのインフラ、利便性の向上だと思っていたが言葉からなかなか想像できない。
事務局 1	ご指摘の通り、検討の上、担当部署と調整する。
A	それに関連して公園について施策がない。遊びができる場所、公園も整備されていないような所が多い。
D	犯罪に絞られているが交通事故については触れられていない。
事務局 1	調整する。
A	22 頁④良好な環境の保全とあるが、「良好な環境」というのが漠然としすぎている。SDGs の理念に基づいた環境施策というなら“持続可能な環境づくり”などの方がより良い表現になるのではないかと。文章については特に意見はないが、キャッチフレーズ的な小タイトルも、“持続可能な環境のづくり”の方が時代に合ったわかりやすい表現ではないかと。
事務局 1	下から 2 行目に「朝倉市の持続可能な発展に向け、SDGs の理念に基づいた環境施策の展開に努めます。」と書いている。ご指摘の通り、変更するよう調整する。

(4. その他)

次回は 3 月中旬から下旬に開催予定。

(5. 閉会)

以上